

慢性疼痛の 精神医学的診断と治療

(独)国立精神・神経医療研究センター
認知行動療法センター
大野裕

診断

身体症状とその関連疾患(DSM-5)

Somatic Symptom and Related Disorders

- 身体症状症 Somatic Symptom Disorder
- 転換性障害(変換症、機能性神経症状症)
- 他の医学的疾患に影響を与えている心理的要因
- 虚偽性障害

身体症状症 (Somatic Symptom Disorder)

- DSM-IV
 - 身体化障害、心気症、疼痛性障害、鑑別不能型身体表現性障害
- 診断基準
 - A: 一つまたはそれ以上の、苦痛を伴う、もしくは日常生活を著しく障害する身体症状
 - B: 身体症状、またはそれに伴う健康への懸念に関連した過度な思考、気持ち、または行動で、以下の少なくともひとつによって顕在化する
 - 1 自分の症状の深刻さについての不適切かつ持続する思考
 - 2 健康または症状についての持続する強い不安
 - 3 これらの症状または健康への懸念に費やされる過度の時間と労力
 - C: どれひとつとして身体症状が持続して存在していないこともあるが、症状の認められる状態が持続している (典型的には6ヶ月以上)

有病率: データ不足、5~7%、女性に多い

転換性障害(変換症、機能的神経症状症)

• 診断基準

- A. 一つ以上の随意運動、または感覚機能の変化の症状
- B. その症状と、認められる神経疾患または身体疾患とが適合しないことを裏付ける臨床的所見
- C. その症状または欠損は、身体疾患や他の精神疾患では、うまく説明されない
- D. その症状または欠損は、臨床的に重要な苦痛、社会的、職業的、または他の重要な機能領域で、医学的な評価が必要とされるほど障害を引き起こしている

• 症状型

- (F44.4) 脱力あるいは麻痺を伴う
- (F44.4) 異常な運動を伴う(例: 振戦、ジストニア運動、ミオクローヌス、歩行障害)
- (F44.4) 嚥下症状を伴う
- (F44.4) 発話症状を伴う(例: 失声症、呂律不良など)
- (F44.5) 発作、またはけいれんを伴う
- (F44.6) 感覚麻痺あるいは感覚喪失を伴う
- (F44.6) 特殊な感覚症状(例: 視覚、嗅覚、聴覚の障害)を伴う
- (F44.7) 混合した症状を伴う

有病率: データ不足、持続性のものは1年間に10万人中2~5人の発生率
女性は男性の2~3倍、すべての年代で発症

経過修飾因子

- 持続性の身体症状症に関連する因子
 - 人口統計学的特徴(女性、高齢)
 - 併存する慢性的な身体疾患もしくは精神疾患(抑うつ、不安)の併存
 - 無職・失業等の社会的ストレス
 - 幼少時の逆境の報告
 - 疾病利得のような社会的促進強化要因
- 臨床経過に影響するような認知的要因
 - 疼痛への感受性
 - 身体感覚への過剰な注目関心
 - 身体症状を可能性のある身体疾患に帰属させる傾向

鑑別診断

- 健康に関するごく一般的な懸念
- 隠れた身体疾患
- 身体疾患を有した場合の予測可能な反応
- 他の精神疾患。
 - うつ病、双極性障害、不安障害、精神病性障害、身体醜形障害
- 詐病
 - 利益目的
- 虚偽性障害
 - 病人としての恩恵を受けるため

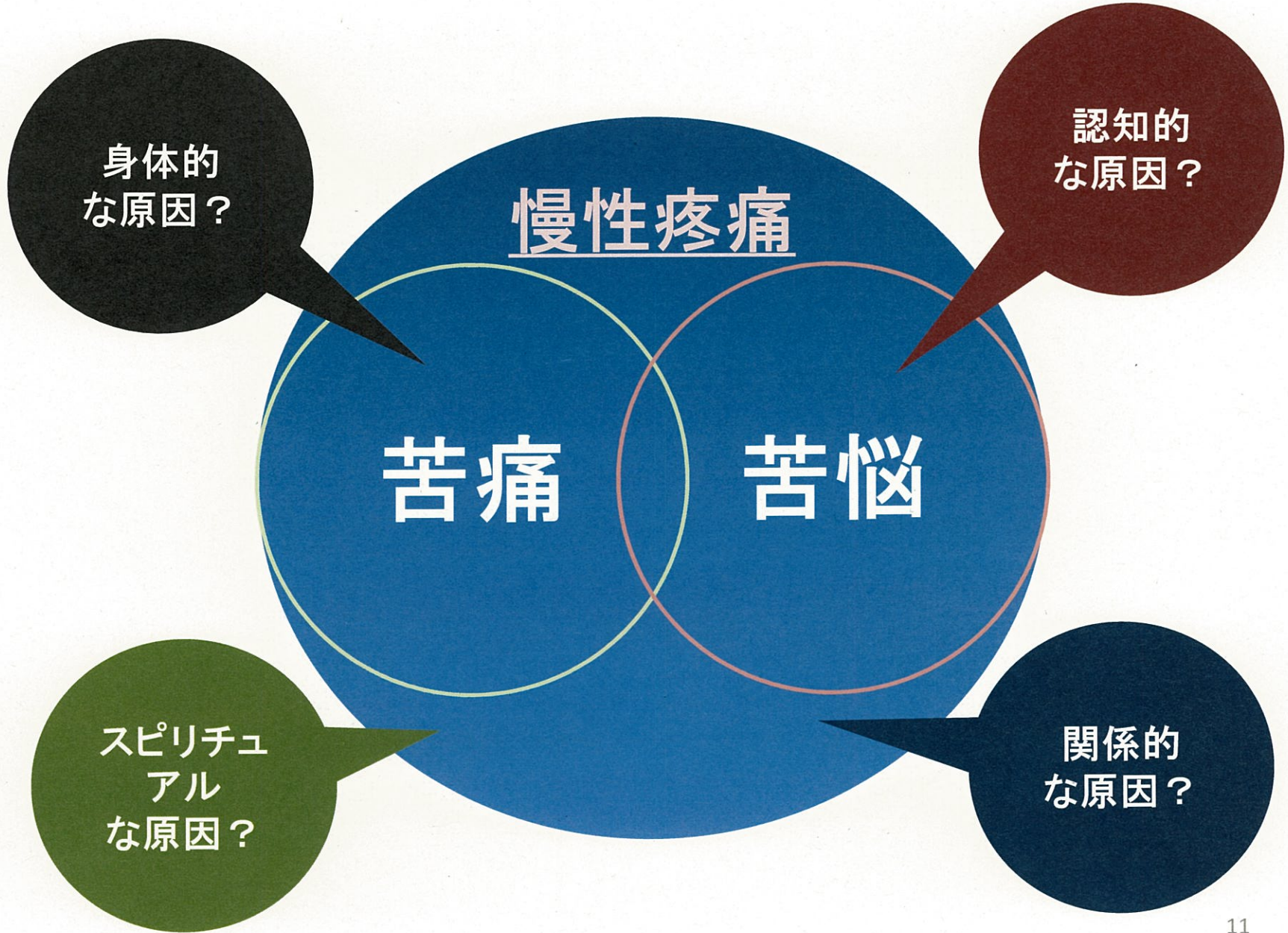
診断の際の留意点

- 境界の難しさ
 - 精神医学とその他の身体医学の境界に位置している
→両方の領域の専門家による密な協力が不可欠
- 適切で十分な身体的評価
 - 身体症状を安易に精神疾患と結びつけない
 - 過剰な検査や治療に注意する
 - 診断と治療の一元化と調整を図る
- 他の精神疾患の評価
 - 双極性障害、うつ病、不安障害、精神病性障害

治療

治療の基本原則

- 信頼感に基づく安定した治療関係
 - 精神科への紹介は慎重に行う
 - 身体症状の個別性を重視
 - 身体症状の意味や重要性を慎重に評価する
 - 身体症状は“現実”であるという立場をとる
 - 協同的な治療関係
 - 相互に合意できる治療目標を設定する
 - 長い目で治療を行う
 - 診断と治療ではなく“マネジメント”
 - 各診療科によるチームアプローチ
 - 精神科はチームをマネージする“コンサルタント”
- 抑うつ及び不安に対する治療法と同様のアプローチに強いエビデンス
 - 併存が多いことも関係
 - 疼痛に対しては、認知行動療法(リラクゼーション、行動活性化、認知再構成法)、三環系抗うつ薬



例

感情的な痛み 不安 怒り

むくみ
手足先の
温度低下

筋力低下

肩コリ
緊張型
頭痛

いつまで
続くのか

自分が悪
いからこ
うなった

筋肉の緊張

認知問題

緊張

疑問

さて、
どうしよう
.....

慢性疼痛



例

感情的な痛み 不安 怒り

ホルモン系の問題？
セロトニン不足？

非現実的な
考え方

筋肉の緊張

認知問題

緊張

疑問

慢性疼痛

さて、
どうしよう
.....



例

感情的な痛み 不安 怒り

むくみ
手足先の
温度低下

レストレ
ス・レッグ
筋力低下

肩コリ
緊張型
頭痛

いつまで
続くのか

自分が悪
いからこ
うなった

筋肉の緊張

認知問題

緊張

疑問

さて、
どうしよう
.....

慢性疼痛



例

感情的な支持 怒り

支持的な関係

いつまで続くのか

自分が悪いからこうなった

栄養
リラクゼーション

むくみ
手足の温度

認知療法

緊張

投薬治療

慢性疼痛

